

美校高等学校

あずあずぽっしぶる

「障がいがある方が住みやすい町にするために」

活動概要

特別支援学校で、体育の授業や職業体験、部活動などに参加し、生徒たちと交流した。また、支援学校で勤務しておられる先生方に特別支援学校についてインタビューしたり、生徒のみなさんやその保護者の方々に生活していく上で不便に思っていることなどをインタビューした。
特別支援学校での体験やみなさんに協力していただいて聞いたことをもとに、改善していく。
またみんなでまちづくりプロジェクトに参加し、長期プログラムを通じて美浜のいろんな面を知り障害のある方が不便に感じている問題を解決していく。



「安心と共にまちづくりを」

活動目的

特別支援学校で見たり体験したことを私達の住む地域の施設や公共交通機関に活かし、もっと地域を活性化させていきたいと思ったから。

志

実際に障がいがある方々のお話をきいて普段生活する上で困難に感じることや悩み事を解決し、障がいのある方に寄り添いながら探求活動を行っていきます！

「特別支援学校で見つけ感じたこと」

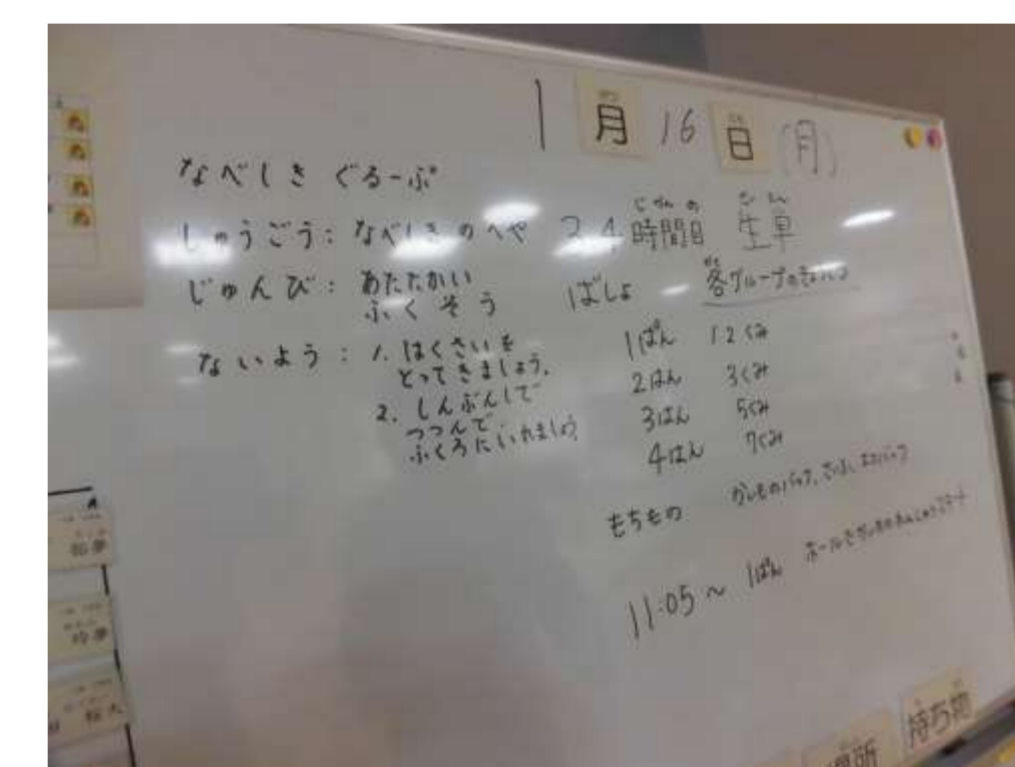
特別支援学校に2日間行きそこで見つけたユニバーサルデザインについて多目的トイレがある。男女どちらでも入ることができ障害のある方でも広く使うことができる。またエレベーターやスロープがあり階段を登ることができない車椅子の生徒さんでも自分の力で登ることができるように設備されている。水道では、普通の学校にあるように蛇口を手で回すようなものではなく手が不自由な人でも自分で蛇口が捻れるようにひねるところが長く回しやすいようになっていた。黒板などは漢字が読めない生徒が自分で読むことができるように振り仮名がふってある。廊下は普通の学校と比べると広く作られていて車椅子の生徒さんでも通りやすくするために作られていました。目が不自由な生徒さんが自分の教室だとわかるように鈴がつけられてあった。特別支援学校では私達が知らない設備までされており、障がいがある方が生活しやすくなっていた。
支援学校にいる生徒さんをはじめとして様々な種類の障がいがある人たちができるだけ住みやすいような町にするために、日常生活で困っていることや不便に感じていることを解決できたらいいなと思っています。



多目的トイレ



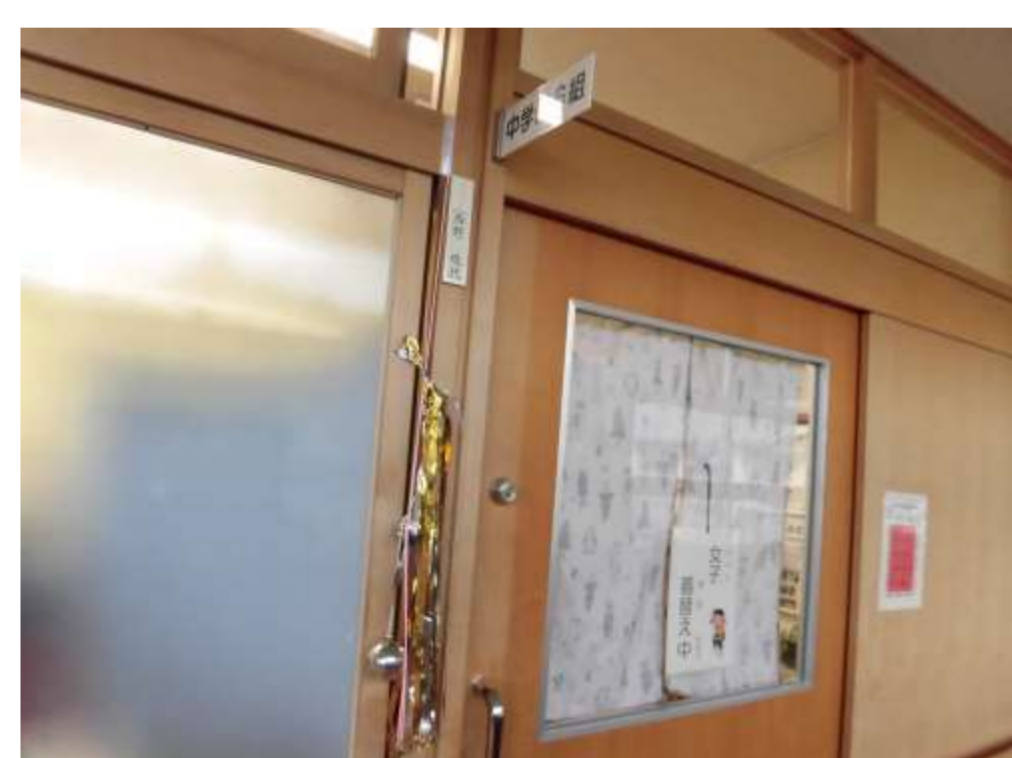
手が不自由な人でも捻れる水道



スロープ



窓が全開できないようになっている



鈴がつけがある



「障がいがある方が不便に 今後の展望、ゆめ 思わないような町にする」

<今後の展望>

支援学校の生徒さんたちにインタビューを実施したところ、電車の時刻表がわかりにくいという回答が多かったので、支援学校の生徒さんでもわかるような時刻表を作成する。具体的には、時計のイラストで時刻を表したり、どの方面に行くのかわかりやすいような時刻表を作成する。また地域のまちづくりプロジェクトに参加し、障がいがある方が不便に思っていることを解決できるような設備を考えて提案する。そして、障がいのある方が暮らしやすい町をつくっていく!!



活動団体プロフィール

美方高校2年1ホーム
中村 優愛
武岡 未紘
木原 芹夏